

「新時代の学び」に向けた1人1台タブレット端末の貸与について

～児童編～



児童のみなさん、いよいよ一人一人がそれぞれ1台のタブレット端末が使用できるようになりました。今まで以上に日常の学習やいろいろな活動の場面で活用できるようになります。



「教えてもらう」から「自分で学びとる」授業へ変わる

そもそも何のためのタブレット端末貸与なのでしょうか・・・

これからの学習は、先生から「教えてもらう」ものから、自分たちで「学びとる」ものへと変わっていきます。自分から調べたり、記録したり、意見を出し合ったりする道具として積極的に活用してください。つまり、自分から「学びとる」ツールとして活用するためのものです。



タブレット端末を使用するときのお願い

○使用について

タブレット端末は、あくまでも学習用です。学校での学習、家庭学習に使ってください。



○壊れた時について

タブレット端末は、ていねいにあつかってください。家庭で壊れたり、なくしたりした時には学校に電話しましょう。（土日・祝日除く）



○持ち帰りについて

学校の授業や家庭学習などで使うので、家に持ち帰ります。家に帰ったらタブレット端末の充電をしてください。



○点検について

学校でも壊れていないか確かめるため定期的に点検を行います。



○アップデートについて

OS やソフトウェアのアップデートなどのため、家に Wi-Fi 環境があるときは、家の回線を使用してよいです。



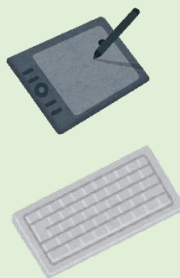
○Web 閲覧について

・タブレット端末で閲覧した内容等は記録をとっています。・フィルタリングがかかっていますが、不安を感じるサイトに入った時には、家の人に知らせましょう。



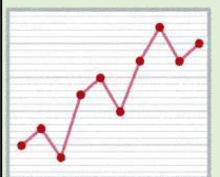
○返却について

学年が上がるときには、そのまま持ち上げますが、卒業する時には、タブレット端末、電源アダプターなど周辺機器も含めて全て元どおりにして学校へ返します。



○健康のために（9時以降は使用しない）

・正しい姿勢で、画面に近づきすぎないようにしましょう。・30分に一度は、遠くの景色を見るなど目を休ませるようにしましょう。・使う時間は、家の人と話し合って決めましょう。・寝る30分前には使用をやめるようにしましょう。



今回大田区から貸与されるタブレット端末は、これからの私たちの学びにとってとても有効なものです。自分も友達もより高め合えるよう情報モラル（著作権、肖像権、SNS 利用等）を守りながら正しく活用するようにしましょう。

< 参考資料 >

大田区「持ち帰りタブレット活用のルール」

大田区教育委員会

学習内容をよく理解し、豊かな学びを実現させていくためには、一人一台のタブレットを上手に活用することが大切です。

このタブレットを上手に使うことで、どのような場合でも学習を止めずに学び続けること、一人一人に合わせて学びを深めることができるようになります。タブレットは、皆さんの学習に役立てるための道具です。鉛筆や消しゴム、ノートや定規のように、皆さんにとって「文房具」のように使いこなせるようになってほしいと考えています。

大変便利な道具ですが、心配されることもあります。

そのため、この「持ち帰りタブレット活用のルール」を定めました。

皆さんでこのルールを守り、
タブレットを活用していきま
しょう。



学校で貸し出すタブレットは学習活動のために使うてください。
タブレットで何ができるかを学ぶことも立派な学習です。
自分の道具として使いこなすことができますよう、積極的に使ってください。

その際、わからないことや不安なことが
あったら、家の人や先生にすぐ相談するようにしましょう。



タブレットを使うときの注意点

- ◆ 自分の家で使います。
(学習目的で図書館や博物館等で使いたいときは、家の中の許可を得てからにしましょう。)
- ◆ 登下校中はタブレットをかばんから出さないようにしましょう。
- ◆ タブレットを使用する前後は手を洗うようにしましょう。
- ◆ なくしたり、盗まれたり、落として壊したり、水に濡らしたりすることがないように十分気を付けましょう。
- ◆ タブレットを持っているときは走らないようにしましょう。
- ◆ タブレットは直接地面に置かないようにしましょう。
- ◆ タブレットは強い力がかかると壊れてしまいます。
大切に使いましょう。
- ◆ じめじめしたところや、温度が高くなるところに置かないようにしましょう。
- ◆ 画面はタッチパネルとなっています。
- ◆ 鉛筆やボールペンでふれないようにしましょう。
- ◆ 故障の原因となりますので、磁石等を近づけないようにしましょう。
- ◆ 家庭では、家の人が見えるところに置きましょう。

